

ISSN 0453-8889

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF
KINKI UNIVERSITY

近畿大学農学部紀要

第42号

2009



近畿大学農学部

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF KINKI UNIVERSITY

近畿大学農学部紀要

第42号 2009

目 次

里山プロジェクト

現代 GP 特集にあたって	池上甲一	1
近畿大学奈良キャンパスにおけるレッドリスト植物の生育状況	曾我部陽子, 桜谷保之	3
近畿大学奈良キャンパスにおける両生類・爬虫類の生息状況福原宜美, 八代彩子, 内藤勇輝, 上瀧七美, 須斉正也, 今井忍, 石濱夏来, 川上拓人, 岡田実可子, 櫻井彩乃, 寺田早百合, 桜谷保之		11
「里山修復プロジェクト」における「近大メダカの学校」の役割牛田博, 倉園知広, 北川哲郎, 寺田剛, 乾偉大, 鳥居憲親, 井尻智也, 細谷和海		25
近畿大学田んぼビオトープに見られる水生生物Ⅱ — 2008年度の調査結果をめぐって—堀井裕一, 松石和幸, 小林輝彦, 中川慈子, 稲本雄太, 久米幸毅, 細谷和海		33
近畿大学農学部所蔵魚類標本の概要	武内啓明, 藤田朝彦, 久保喜計, 細谷和海	105
タイ南部ラメーで採集された淡水魚類	久門田悠矢, 矢本卓也, 細谷和海	111
絶滅危惧種ホトケドジョウの人工繁殖	宮本良太, 勝呂尚之, 細谷和海	119
近畿大学奈良キャンパス里山林におけるコナラ、ヒノキ、りょうぶ及び竹葉の 分解速度と分解土壌動物相の動態	多羅尾一勤, 三宅絢, 荏田まや, 奥村博司, 若月利之	127

絶滅危惧種オガサワラヨシノボリの保護に関する研究……………横井謙一 145

近畿大学奈良キャンパス、インドネシア・パダン市、およびガーナ・アデュギヤマ村の
里山生態系における土壌動物相の多様性の比較……………多羅尾一勤，奥村博司，若月利之 203

里山をイメージさせるガーデニング ～第23回全国都市緑化おおさかフェアへの参加～
……………森本正則，駒井修，西原孝，山口英雄，藤田藤樹夫，村尾健太，
祝原豊，吉田和洋，古武秀智，駒井功一郎 219

原 著

日本の水産物自給率 一需給変動に伴う政策課題一 ……………小野征一郎 225

温室内で発生したトマト根腐萎凋病 (*Fusarium crown and root rot disease*) の
感染拡大に関わるミギワバエ *Scatella stagnalis* (Diptera : Ephydriidae) の影響
……………松田克礼，野々村照雄，豊田秀吉 237

調 査

パプアニューギニア国モロベ州における植物の利用：フィールド調査、2008年10月
……………種坂英次，大野朋子，山口裕文 243

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF KINKI UNIVERSITY

Volume 42, 2009

CONTENTS

SATOYAMA Project

Project Leader's Address for Special Issue on Education in the 'Satoyama'

Koichi IKEGAMI 1

Endangered red data plants on the Nara Campus of Kinki University

Yoko SOKABE and Yasuyuki SAKURATANI 3

Amphibians and reptiles recorded on the Nara Campus of Kinki University

Yoshimi FUKUHARA, Ayako YASHIRO, Yuki NAITO, Nanami KAMIDAKI,
Masaya SUSAI, Shinobu IMAI, Natsuki ISHIHAMA, Takuto KAWAKAMI,
Mikako OKADA, Ayano SAKURAI, Sayuri TERADA and Yasuyuki SAKURATANI 11

**Activities of the "Kindai School of Medaka" and the role
in the "Satoyama" Restoration Project, promoted by Kinki University**

Hiroshi USHIDA, Tomohiro KURAZONO, Tetsuro KITAGAWA,
Takeshi TERADA, Takehiro INUI, Norichika TORII, Tomoya IJIRI,
and Kazumi HOSOYA 25

Aquatic organisms of the paddy biotope, Kinki University on the results in 2008 research.

Yuichi HORII, Kazuyuki MATSUISHI, Teruhiko KOBAYASHI,
Chikako NAKAGAWA, Yuta INAMOTO, Koki KUME and Kazumi HOSOYA 33

Fish specimen collections of the Faculty of Agriculture, Kinki University

Hiroaki TAKEUCHI, Tomohiko FUJITA, Yoshikazu KUBO and Kazumi HOSOYA 105

Report on the freshwater fishes from Lamae, Southern Thailand

Yuya KUMONDA, Takuya YAMOTO and Kazumi HOSOYA 111

**Artificial propagation of an endangered freshwater fish,
the Hotoke loach *Lefua echigonia* Jordan et Richardson**

Ryota MIYAMOTO, Naoyuki SUGURO and Kazumi HOSOYA 119

Dynamics of soil mesofauna in relation to the decomposition rate of leaf litter of *Quercus serrata*, *Chamaecyparis obtusa*, *Clethra barvinervis*, and Bamboo in satoyama forest of the Nara campus, Kinki University

Kazunori TARAO, Jun MIYAKE, Maya KARITA,
Hiroshi OKUMURA, and Toshiyuki WAKATUKI 127

Study on the protection for the endangered freshwater goby, *Rhinogobius* sp. BI from the Bonin Islands

Ken-ichi YOKOI 145

Comparative characterization of soil mesofauna diversity of the “satoyama” ecosystem on the Nara Campus, Kinki University, Japan, Padang, Sumatra, Indonesia, and Adugyama, Kumasi, Ghana

Kazunori TARAO, Hiroshi OKUMURA, and Toshiyuki WAKATUKI 203

Making an ornamental garden reminiscent of Sato-yama

~ Join in The 23rd National Urban Greenery Osaka Fair ~

Masanori MORIMOTO, Osamu KOMAI, Takashi NISHIHARA,
Hideo YAMAGUCHI, Tokio FUJITA, Kenta MURAO, Yutaka IWAIHARA,
Kazuhiro, YOSHIDA, Hidetomo FURUTAKE, Koichiro KOMAI 219

Original

Self-Sufficiency Rate of Fisheries in Japan

– Policy Issues Related to Changes in Supply and Demand –

Seiichiro ONO 225

Involvement of the shore fly *Scatella stagnalis* (Diptera: Ephydriidae) in expansion of Fusarium crown and root rot disease from diseased to healthy tomato seedlings in greenhouse hydroponics

Yoshinori MATSUDA, Teruo NONOMURA, Hideyoshi TOYODA 237

Survey

Use of plants in Morobe Province, Papua New Guinea:

Survey trip in October 2008

Eiji TANESAKA, Tomoko OHNO, and Hirofumi YAMAGUCHI 243

近畿大学農学部紀要投稿規定

(平成 17 年 7 月改正)

1. 報文の投稿者は、近畿大学農学部教員、大学院生（修了後 3 年以内）、学部学生（卒業後 3 年以内）とする。ただし、共著者には本学部の、技術員・研修員・研究員他を含むが、部外*の共著者が筆頭者となる報文の投稿については事前に紀要委員会の承認を得なければならない。また、大学院生・学部学生が投稿する場合には担当教員の承認を必要とする。
2. 報文は投稿者の原著、ノート、総説、総合論文、調査・資料とする。
3. 原著は、本規定ならびに原稿作成要領に従って作成されたものでなければならない。
4. 報文は、原則フロッピー入稿とする。
5. 報文は、各学科の紀要委員をへて紀要委員長に送付し、紀要委員会のもとに到着した日を受理の日とする。
6. 原稿はすべて編集会議において掲載の可否を審議する。
7. 編集会議において、そのまま掲載できないと判断されたものは、その理由をふして著者に返却し、訂正を求める。この場合は、訂正原稿が委員長のもとに到着した日を受理の日とする。
8. 紀要委員会は、編集会議の参考に資するため、投稿原稿の査読を学部の二名以上の教員に依頼する。
9. 報文の掲載の順序は、原則として受理日の順とするが、内容による区分等を必要とする場合など、すべて編集会議で決定する。
10. 報文の著者および共著者は、当該報文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された報文については冊子体以外の媒体で公開されることを承諾したうえで投稿する。
* 附属農場、水産研究所、資源再生研究所は部内に準ずるものとする。

投稿に関する注意

1. 投稿の締切日は、9 月 30 日とする。
2. 投稿するときは、所定書式の投稿カードに必要事項を記入し、フロッピーディスクおよびその内容を打ち出した原稿とともに提出する。
3. 原稿は、図、表、写真、英文 synopsis を含め、すべて 3 部ずつ提出する。ただし、2 部は複写したものでも差し支えないが、重要な写真など写し不鮮明になる場合は複写でない方が望ましい。
4. 英文原稿には、和文の表題、和文の姓名、およびおよそ 200 字の和文要旨を添える。また、和文原稿には、英文表題、ローマ字書きの姓名、およびおよそ 200 語の synopsis を添える。
5. 英文原稿の場合は、あらかじめ投稿前にネーティブの英文校閲を済ませたものでなければならない。未校閲の論文は受け付けない。
6. 字体は、投稿時に、必ず指定をしておく。
7. 校正は最終校を除き著者が行う。原則として、文章または図表の変更や追加をしてはならない。
8. 別刷は 50 部まで無料とする。これを超える部数とカラー図版の費用は原則として著者が負担するものとする。また、刷り上がり 16 ページ以上の報文についても、その超過ページ部分は原則として著者負担とする。

近畿大学農学部紀要の電子媒体投稿基準

近畿大学農学部紀要雑誌の投稿に際して、以前から印刷時、FD（データを保存したフロッピーディスク）があっても字体の指定（大文字とかイタリック体とか）をしておかないと異なる字体に印刷される。また、本文と表などのフォントが異なるなどの問題が生じていました。

紀要委員会では昨年度より論文の電子媒体（フロッピーディスクなど）による投稿には一定の基準を作製し、ソフトウェア・フォントを統一していただく事になりました。つきましてはご提出いただく原稿を下記の基準に準じて電子媒体でのデータをご提出お願いします。印刷および校正を潤滑かつ短時間で行うためにも下記の基準に準じた電子媒体の提出を御願い申し上げます。

- 1) 電子媒体はフロッピーディスク、CD もしくはMO とする。
- 2) ワードプロセッサソフトウェアは基本的に Microsoft Word（Windows または Macintosh）の version 2003 とする。
- 3) 本文は字体（フォント）は明朝体（MS 明朝体、細明朝体）（英文は Times New Roman）とし、太文字（ゴシック体）、イタリック体など他の字体を用いる場合には Hard copy（書面）論文に下線を引き字体を指定する。
- 4) 表についても字体（フォント）は明朝体（MS 明朝体、細明朝体）とし、太文字（ゴシック体）、イタリック体など他の字体を用いる場合には Hard copy（原稿紙）論文に下線を引き字体を指定する。
- 5) 図および写真も電子媒体で作製した場合にはソフトウェアは Microsoft Power Point または Adobe Photoshop とする。

近畿大学農学部紀要委員会

編 集 委 員 会

若 月 利 之
松 田 克 礼
川 嶋 賢 一
板 倉 修 司
成 川 輝 明
松 野 裕
高 谷 政 広

近畿大学農学部紀要 第42号

平成 21 年 3 月 20 日 印刷

平成 21 年 3 月 31 日 発行

発 行 人 宇 都 宮 直 樹

編 集 人 若 月 利 之

発 行 所 近 畿 大 学 農 学 部
奈良市中町3327-204

印 刷 所 近 畿 大 学 管 理 部 用 度 課 (出 版 印 刷)
東大阪府小若江3丁目4番1号